

令和元年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R1-20)

施策名	目標4-8 東日本大震災等の教訓を踏まえた災害廃棄物対策					
施策の概要	災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するための対策を推進する。					
達成すべき目標	東日本大震災等の教訓を踏まえ、災害廃棄物の適正かつ円滑・迅速な処理について、平時の備えから大規模災害発生時の対応も含めた対策の推進を図る。					
施策の予算額・執行額等	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	3,641	3,315	3,131	3,764
		補正予算(b)	7,322	29,574	63,561	-
		繰越し等(c)	30,172	▲ 1,993	▲ 31,455	
		合計(a+b+c)	41,135	30,896	35,237	
執行額(百万円)	39,649	20,488	31,388			
平成29年度実施施策に係る政策評価書	第四次循環型社会形成推進基本計画 廃棄物処理施設整備計画 国土強靱化基本計画					

測定指標	市町村における災害廃棄物処理に関する計画策定率	基準値	実績値					目標値	達成
		H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R7年度	○
		8%	21%	24%	27%	39%	51%	60%	
		年度ごとの目標値	10%	15%	20%	25%	30%		
	ごみ焼却施設における老朽化対策率	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R7年度	○
		77%	88%	91%	93%	92%	86%	85%	
		年度ごとの目標	-	-	85%	85%	85%		
	熊本地震において発生した災害廃棄物処理進捗率	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	○
		50%	99%	100%	-	-	-	-	
		年度ごとの目標	99%	100%	-	-	-		

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ② 目標達成 (判断根拠) 全測定指標において、年度ごとの目標を達成した。
	施策の分析	・平成30年度に引き続き、全ての測定指標について目標を達成した。 ・目標年度における目標達成に向けて引き続き進捗管理を行い、取組を進めて行く必要がある。
	次期目標等への反映の方向性	【施策】 ・万全な災害廃棄物処理体制の構築に向けて、引き続き市町村における災害廃棄物処理計画策定に関する取組を更に強化することが必要である。また、近年の災害対応から得た課題を踏まえ、災害廃棄物処理の更なる迅速化を図っていく。 【測定指標】 ・平成30年6月に「第四次循環型社会形成推進基本計画」を策定し、市町村における災害廃棄物処理計画策定率に関する測定指標を見直した。 ・更なる災害廃棄物処理体制の構築に向けて、近年の災害対応から得た課題を踏まえ、引き続き取組を進めてまいりたい。

学識経験を有する者の知見の活用	災害廃棄物対策推進検討会 等
-----------------	----------------

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	災害廃棄物処理対策の取組状況等の調査結果 等
---------------------------	------------------------

担当部局名	環境再生・資源循環局環境再生事業担当参事官室災害廃棄物対策室	作成責任者名 (※記入は任意)	名倉 良雄(災害廃棄物対策室長)	政策評価実施時期	令和2年9月
-------	--------------------------------	--------------------	------------------	----------	--------